第28号
平成23年３月

生涯学習の窓

富山大学地域連携推進機構　生涯学習部門ニュース

1. フランス語講座：来年度は高岡キャンパスでも実施

フランス語公開講座を４年間ご担当になっておられる、本学非常勤講師の清水まさ志先生にお話をおうかがいいたしました。



ボジョレー・ヌーボー・パーティー

――― 先日は、本学のオープンカフェ AZAMI にて催しをされたようですが。

ボジョレー・ヌーボー・パーティーということで、フランスワインと参加者が持ち寄った食べ物を楽しみました。こちらには、フランス語の入門から中級講座まで、４つのクラスの希望者が集まりました。同じフランス語を学んでいても普段出会う機会は少ないです。それで、フランス語を学んでいる者どうしの交流の場、という意味合いをもたせてやっています。好評ですよ。

――― この４年間でたくさんの受講生をご指導されてきたかと思います。



持ち寄りの料理

比較的、継続して受講される方がおられます。４年間続けて受講されている方もいらっしゃいます。そうすると、以前から受講している方どうしはいいのですが、途中からは入りにくくなってきます。

その点では、フランス語の入門講座をつくることである程度対応できるような気がします。スタートラインが同じなので入りやすいところがあるのだと思います。前年は 25 人ほどの受講生が集まりました。ただ、フランス語を続けるのは難しくて、次の年には半分くらいになりましたが。それで、２年に１度くらいは入門講座があってもいいと思います。

――― 学生に指導されるときと違う点などは。

基本的には同じようにやっています。公開講座は年齢層が幅広いですから、教え方をどこか１つにあわせることが難しいです。学生対象の授業の場合も、単に知識だけというより、いろんな人と話すことを重視しています。先ほどのボジョレー・ヌーボーのパーティーなどは、お互いにコミュニケーション

することの楽しさをわかっていただこうという思いがあります。


フランス語講座風景

――― ご指導を展開されてきて、何か手応えを感じることは。

やはり皆さんの笑顔ですね。あと、継続して受講されている人たちがいることです。フランス語というと難しいイメージがありますので、「楽しい」という雰囲気と、クラスに居場所を持つことができること、これが教えていて手応えになります。私自身富山市出身ですので、地域社会に貢献できて大変光栄に思っております。

――― 来年度からは高岡でも実施していただけることになりましたが、何か抱負をいただけますか。

呉西に住んでいる人たちに機会を提供できるのは重要だと思います。やはり五福までは距離が遠くて難しい。土曜だと呉西からの受講者もいますが、それでもかなり遠い。高岡キャンパスで実施した場合、夜間の受講も可能になります。今年から高岡キャンパスにある芸術文化学部でフランス語の授業がはじまりました。学生の間にもフランス語の需要があるようです。前期で 56 人、新入生の約半分くらいが受講したことになります。学部の特徴と、高岡という地域の文化的な環境から、フランス語への関心も高いような気がしますね。

――― はじめてフランス語を学ぶ上で難しいところはどんな点でしょうか。

大きく２点あります。やはり動詞が活用すること、名詞に男女の性の区別があることです。これらは英語にない特徴なので、そこが難しい。あとは英語と似ている点も多いです。

公開講座では、講座の途中から参加された方への対応などが難しいことがあります。

――― フランスの「文化」について教えるにあたって留意されていることは何ですか。

５年ばかり留学していたときの経験を活かしています。日本の文化とどう違うのか、というところを中心にしています。フランス文化への理解を通じて、日本の文化とはどういうものか、ひいては自分自身を理解してみよう、ということですね。フランスにかぎらず、外国文化をみないと自国の文化がみえてこないこともあると思います。

ジャンルとしては、衣・食・住の全般ということになります。特に公開講座は女性の受講生が多く、文化面に興味のある方が多いようです。反対に、男性は語学に関心が高い方が多くいます。フランスの持つイメージと、それとは違った実際のフランス人の生活をつなげるように心がけています。

――― お忙しいところ、お話ありがとうございました（2010.12.4.）。

（聞き手：地域連携推進機構　生涯学習部門　准教授　仲嶺　政光）

2. 来年度の公開講座

来年度の公開講座の企画がはじまりました。定番の講座に加えて、以前よりステップ・アップした高度な講座も予定しています。多くの皆様の受講をお待ちしております。



韓国語を学ぶ皆さん



富山の環境科学入門

（今年度公開講座受講生の感想）
- 独学では理解できないところもよく理解できました。
- わからないところをすぐサポートしていただきました。ありがとうございました。
- 文系のため、理数系講座を受講してみたい。

3. 北陸地区４国立大学連携まちなかセミナー

北陸地区の４つの国立大学（富山大学、金沢大学、福井大学、北陸先端科学技術大学院大学）が連携し、相互に講師派遣をおこなう「まちなかセミナー」が今年も開催されました。

■ 2010 年 10 月 9 日（土）14：00 ～ 16：30
■ テーマ「環境」

●「外来魚ブラックバス事情～福井県を例として～」
（福井大学教育地域科学部、保科英人准教授）
●「里山里海の未来可能性：能登半島を例として」
（金沢大学環日本海域環境研究センター長、中村浩二教授）

受講生からは、「ブラックバスと里山里海の素材が、人体や生活と密接に感じて、よくわかった」「自分たちができることを考えてみようと思った」「外来種の影響で日本の在来種が減少しているかどうか具体的な現状把握が必要だ」などの感想が寄せられました。



講師の先生方



コーディネータをつとめていただいた、本学大学院 理工学研究部 前川清人先生

4. 第９期経営者大学開講

2010 年 8 月 7 日（土）～ 10 月 2 日（土）にかけて、富山県中小企業家同友会と連携した経営者大学（第 9 期）が開催されました。激動期を確かに生きるための知識を様々な角度から学び、これからの社会と経営の発展方向を洞察し、「共育」力を身につけることを目的としています。

回	開催日	講　　師	テーマ
1	8 月 7 日（土）	水谷内徹也（富山大学 経済学部教授）	「理念がビジネスを動かす：理念経営の戦略的有効性を考える」
2	8 月21日（土）	長井　亮 ㈱アールナイン　代表取締役社長 北陸学院短大　非常勤講師	「共に学び共に育ちあう社風づくり」
3	9 月 4 日（土）	長井　亮 ㈱アールナイン　代表取締役社長 北陸学院短大　非常勤講師	「社員の自主性の発揮」
4	9 月18日（土）	内田康郎（富山大学 経済学部教授）	「市場・顧客のニーズの把握」
5	10月 2 日（土）	内田康郎（富山大学 経済学部教授）	「製品やサービスを生産・提供する仕組みと体制・その運営」

5. 会議報告

◇第 32 回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会

当番：和歌山大学地域連携・生涯学習センター

日時：2010 年 10 月 22 日（金）～ 10 月 23 日（土）

場所：ホテルグランヴィア和歌山（於和歌山県和歌山市）

・ 共通テーマ「国立大学生涯学習系センターの将来展望」

・ 基調講演、全体会、分科会など

◇平成 22 年度北陸地区国立大学連合協議会社会貢献系専門委員会

日時：平成 22 年 12 月 6 日（月）14:30 ～ 16:25

場所：金沢大学サテライト・プラザ（於石川県金沢市）

・ 平成22年度まちなかセミナー実施報告について

・ 平成23年度まちなかセミナー事業計画について

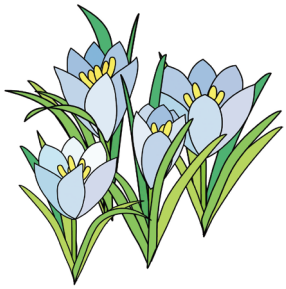
◇平成 22 年度地域連携推進機構運営企画会議（定例）

場所：富山大学事務局大会議室（5 階）

◇平成 22 年度地域連携推進機構・生涯学習部門打ち合わせ（定例）

議題：公開講座、オープン・クラス実施計画その他

場所：富山大学地域連携推進機構・生涯学習部門会議室（1 階）



発行：富山大学地域連携推進機構　生涯学習部門／〒930-8555富山市五福3190／TEL076-445-6956／FAX076-445-6033